

何を使う

機器 スマートフォンまたはタブレット、
プロジェクターまたはモニター

ソフトウェア（アプリ）
ロイロノート



それをどう使う（それで何ができる）

- ① 生徒の中から、解答者を2名選出する。
- ② その2名にわからないように、その他の生徒にイラストを見せる。
イラストはキャラクター、歴史上の人物、世界遺産、国旗等。
- ③ 他の生徒はそのイラストを説明するヒントを英文で提出箱に送る。
- ④ 教員は提出箱のヒントをモニターに表示させる。（文に誤りがある場合は、その生徒に修正を促す。）
- ⑤ 解答者は他の生徒が送ったヒントを見てイラストを当てる（協同作業）

ここが変わる、活用メリット【ICT 活用 Before-After】

【 Before 】

- 決まった英文を作成させると創造性が低い。
- 生徒に質問をすると、解答者以外は受け身的に聞く人になりやすい。

【 After 】 **メリット**

- 想像力・思考力を強化できる。
- 生徒全員が参加しなければならず、ライブ感がある。
- 英文の単純ミスを全体共有でき、他の生徒に気付きを与えられる。

機器 (台数)	スマホ	タブレット	PC	その他		学習 場面	一 斉	個 別	協 働
	○	○	○	プロジェクターor モニター			○		
	生徒1人1台 or グループ1台								
授業実施時に必要な環境→				インターネット接続		○	1人1台端末		△
活用が想定 される校種	小	中	高	特	活用が想定される教科・科目等		英語・社会		
		○	○	△	活用が想定される場面				